

八事山文庫

2808号

特集

大日堂ドワンツツジ勧導
.....3ページ
盆・施餓鬼会
.....4・5ページ
歳時記
.....9ページ

自分を見つめ、自分らしく生きる お寺で考える私だけの「終活」



去る6月18日、「終活道場」が開催されました。作務や食事作法など興正寺ならではのプログラムを体験しながら、「終活」について深く掘り下げる一日となりました。

杜のコラム

戦いに臨むその時、彼らの目には何が映っているのだろうか。五つの大陸を表わす青・黄・黒・緑・赤……五輪旗をばためかせ、四年に一度の祭典が幕を開ける。

財政難から、開催責任を果たせまいとして六月に非常事態宣言まで出しました。今回のリオデジャネイロオリンピック。治安や衛生の面で危惧の声も少なくはないが、それでも多くは無事の開催を望んで

いるだろう。オリンピックなど各国の政治や経済の思惑が露くお祭り騒ぎでしかない、と常に否定的な意見もあるし(TOKYO)に関連して耳が痛い方もきつとどこかにいるのだろう。もちろん正しい部分もあるのだけれど、それでもやはり、純粋にオリンピックに心躍らせる人が多いのではないだろうか。

最高峰の舞台に集う、トップ選手たち。その場所にたどり着くまでに、どれほどの練習時間を費やしたのか。どれほどの勝利と敗北を積み重ね

たのか。さらにメダルを勝ち取ろうとすれば、彼らはより強力なライバルと戦い、相手以上に素晴らしいパフォーマンスを見せなければいけない。勝者になったとしても、涙するライバルの姿を目の当たりにすることになる。相手もまた自分と同じく血ののじむような努力と苦勞を重ねてこの場所にいることを知っているから、千切れるような悔しさ無念さが伝わってくる。ことだろう。怒濤のような感情を背負って前に進まねばならない彼らの真の敵は、言い古したことであるけれども、突き詰めればたったひとつ、「自分自身」しか存在しないのではないかと思う。

極限まで研ぎ澄まされたアスリートたちの身体と心は、気高く、美しい。その美しさがもつとも花ひらくのは閉会式ではないだろうか。結果が望むものであれ、望まなかったものであれ、戦い抜いた者たちが見せる最高の笑顔があふれている。国を超え、お互いを認め抱き合い、称え合う。その姿こそが「平和の祭典」オリンピック開催最大の意義なのだ。

平成28年度

孟蘭盆会・施餓鬼会

8/7(日)・16(火) 施餓鬼法会

10(水)・15(日) 盆合同供養会

12(金) 初盆合同供養会

13(土) 興正寺施主慰霊法会

14(日)・15(日) 精霊流し・盆踊り

15(日) 戦没者追悼慰霊法会

8/24(水) 地藏菩薩大祭縁日
「菓子まき地藏盆」
13時より大書院にて

毎月24日はお地藏さまのご縁日。夏休みの八月は「お寺でお泊り会」の子どもたちと一緒に「おとめ」をします。おとめのためには大数珠回し、お坊さんの紙芝居、前かけ(よだれかけ)奉納を行います。

戌の日 安産合同祈禱会(要予約)
14時より本堂にて ※9月13日は15時、25日は14時30分より
古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。子宝・安産守護として「大願求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈禱を勤めております。
祈禱料五千元・二万円(安産木札授与)

8/10(水) 観音堂 九万九千日

9時より観音堂にて

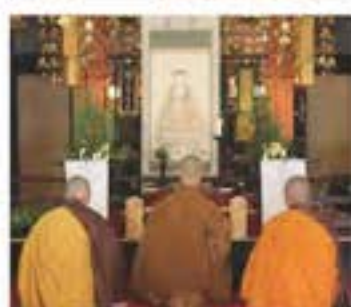
この日にお参りをすれば、九万九千日分の功德がいただける「九万九千日法会」が、興正寺西山観音堂で厳修されます。観世音菩薩との縁をせむ、お結びください。

8/8(日)・20(土) 9/1(木)・13(火)・25(日)

8/7(日) 布薩会

10時より本堂にて

布薩とは問答を繰り返しながら自己反省をし罪を懺悔告白する儀式です。その歴史は長く、日本で本格的に執り行われるようになったのは奈良時代の中期とされています。いにしえから連綿と続く法会の、深く厳肅な空気の中でご自身を見つめ直す機会としてください。



※9時45分より、布薩会に臨むにあたっての心構えが説かれます。
法会終了後、布薩を終えた証として菩薩戒牒(参拝者次第の最後の頁)に朱印を授与いたします。

特別朱印
参拝者次第の最後の頁に授与

< 七日経・年忌法要と十三仏 >

1	初七日	不動明王
2	二七日	観世音菩薩
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	弥勒菩薩
7	七七日	薬師如来
8	百ヶ日	観世音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	三回忌	阿彌陀如来
11	七回忌	阿彌陀如来
12	十三回忌	大日如来
13	三十三回忌	虚空蔵菩薩



△観音堂堂守 海良さん

高「今回は観音さんの特集の回です。まず百ヶ日とはどういった日になるのでしょうか？」

からちようど百日目を指し、別名「卒哭忌」と言われています。親しい人を亡くせば悲しみが溢れてきますね。しかし時がたち、亡き人

◆悲しみから抜けだす節目の忌◆

八月。一段と暑さが増すこの季節。お寺では「お盆」を迎え、とても多くの方がいらつしやいます。猛暑が続きますのでお身体には十分気を付けていただき、お参りにいらしてくださいね。

さて、十三仏のおはなしも折り返し地点を過ぎました。四十九日(満中陰)が過ぎると、迎えるのは百ヶ日です。守護本尊は「観世音菩薩」、地藏菩薩と並んで身近な仏さまですね。今回は少し趣向を変えまして、この「観音さん」について興正寺観音堂堂守、西山海良さんにお話を聞かせていただきました。



たかのしょうせい
高野 正清

との時間を振り返る中で悲しみだけでは故人への感謝の気持ちが生えてくる時期だとされています。その日を境にただ悲しみに明け暮れるのではなく、少しずつ前を向いて歩いて行きましよう。と仏さまが私たちの背中を押してくれる感謝の日だと思います。」

高「さまざまな仏さまがいらつしやる中で、なぜ観音さんが百ヶ日の守護本尊なのでしょう？」

西「いろいろな説がありますがそれはやはり観音さんの慈悲深さからではないでしょうか。観音さんの修行の中に「菩薩行」というものがあります。菩薩行とは簡単に言うと人々を救うための行いです。大いなる慈悲を以て、故人までも救う、という信仰につながるのでしょう。」

高「そうして自身もまた仏への道を歩んでいく。百ヶ日はその節目でもあるのですね。」

◆九万九千日◆

高「八月十日に観音堂にて『九万九千日』という法会がありますね。」

西「この日は大功德日といって、お参りすれば九万九千日お参りしただけの観音さんの功德が得られるといわれています。」

高「それだけの功德が得られるのなら一日お参りすれば十分ですね。」

西「駄目ですよ！人というのは何も悪いことをし

てない、むしろ善いことをしたなと思う日でも千の罪を作ると言われています。」

高「そんなにも罪を作っているのですか？九万九千日分では足りない気がします。」

西「日々手を合わせ、感謝の気持ちを持つことが何より大切です。」



△観音堂の三十三観音

ツウの細道

高「九万九千日に参加できないときはどうすればいいのですか？」

西「来られない人、もちろん来られる人も幟旗を立てることをお勧めします。幟旗に自身の名前と願いを書き入れてお供えします。立てられた幟旗は、ご自身の代わりとなつて、毎日観音さんにお参りしてください。」



縁日さんぽ

縁日の行催事を中心に、興正寺の風景をお知らせしていきます!

観音堂

8月10日は
九万九千日!



今月の「寺通」でもご紹介しましたが8月10日に九万九千日が行われます。この日にお参りすると九万九千日分の功德をいただける有り難い日! 奉納のぼり幡まだまだ受付中です。

観世音菩薩九万九千日 8月10日(水) 9時より

弘法堂

弘法講入講式!



6月21日弘法大師縁日のおつとめの後、興正寺弘法講の入講式が行われました。正優さんから手渡されたのは立派な入講証! みなさまのお力で弘法堂がますます盛り上がっていくこと間違いありません。

弘法購入講費
初年度3,000円/継続は年500円

お問い合わせは弘法講事務局まで

能満堂

奥之院

縁日おつとめ前に、一緒にお掃除しませんか?

お掃除は「下座行」と呼ばれる修行の1つ。ご一緒にいかがですか?



△能満堂(地藏菩薩) 毎月24日11時より



△奥之院(阿彌陀如来) 毎月15日10時より

お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気は全然違うんですよ!

8日 大日如来 (大日堂) 高野正清	15日 阿彌陀如来 (奥之院) 渡邊正大	18日 観世音菩薩 (観音堂) 西山海良	21日 弘法大師 (弘法堂) 三井正優	24日 地藏菩薩 (能満堂) 豊田正純	28日 不動明王 (不動護摩堂) 小松永明
-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------

大日堂にドウダンツツジを!



大日堂御堂下斜面にドウダンツツジを植樹いたします。植樹にあたり、勧募を行うことになりました。興正寺総本尊大日如来さまの御宝前を花でいっぱいにしましょう!

大日堂御堂▷



❁ドウダンツツジ勧募 (1口 1,000円/先着 60口)

受付期間 7月21日(木)から10月8日(土)まで

❁植樹祭

10月16日(日) 12時30分より

勧募いただいた皆さまをお招きし、法会と植樹を行います。

(受付場所) 納経所にてお申し付けください。

△ドウダンツツジは漢字で「満天星」と書きます。

命の営みに感謝する 私たち家族の勤めとして

平成28年 八事山興正寺 盆合同供養会

予約
優先

仏教本来の由緒正しきご供養をご先祖様へ

興正寺での納骨の有無に関わらず、
どなたでもご参加いただけます。

期 間／8月10日(水)～15日(月)

受 付／西山本堂 (10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一霊 5,000円 (「盆供養之證牒」授与)

	10日(水)	11日(木・祝)	12日(金)	13日(土)	14日(日)	15日(月)
8:00	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	△	○	○
13:00	○	○	○	△	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○
19:00	○	△	○	△	△	○

… 混雑が予想されます ☒ … お受けできません

※所要時間 30～40分程度

圓照堂にご納骨の方

期 間／8月10日(水)～16日(火)

受 付／圓照堂 (10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一霊 5,000円 (「盆供養之證牒」授与)

	10日(水)	11日(木・祝)	12日(金)	13日(土)	14日(日)	15日(月)	16日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	△
11:00	○	○	○	○	○	○	△
14:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	○	△	○	△	△	○	△

… 混雑が予想されます

※19時の回は、西山本堂での受付となります。

※合同供養期間中はお遺骨・お位牌はだせません。

※所要時間 30～40分程度

施餓鬼法会(7日)・大法会(16日) 予約優先

お施餓とは… 興正寺では1年を通して、毎日お勤めしている法儀の一形態です。お釈迦さまと阿難の故事に由来し、あの世の「六道」のひとつ、「餓鬼道」にいる餓鬼(生前の悪行によって餓鬼道に落ち、常に飢えと渴きに苦しんでいる魂)に水や食べ物のお供え(施し)をして、その苦しみを和らげ供養するのが、お施餓鬼です。その功德はご先祖さまへも及び餓鬼道へ落とすことなくそのままご供養へと繋がると同時に、施餓鬼塔婆には、福德延寿や子孫長久の功德があるとされています。

日 時／8月 7日(日) 15:00～

8月16日(火) 11:00～、13:00～、15:00～、

場 所／西山本堂

受 付／普照殿 (10分前までに受付をお済ませください。)

塔婆料／塔婆「一霊」の場合:

六尺 30,000円／五尺 10,000円／四尺 5,000円

塔婆「先祖代々」の場合:

六尺 50,000円／五尺 20,000円／四尺 10,000円

※所要時間 30分～1時間程度(待ち時間含む)



初盆合同供養会 本年 初盆をお迎えの方 予約優先

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。

日 時／8月12日(金) 14:00～、15:30～、17:00～

供養料／一霊 5,000円

※お時間の15分前までに受付をお済ませください。

※富山へご納骨済の方へは、時間を指定した申込書をお送りしております。

興正寺施主慰霊法会

興正寺が施主となって、富山に有縁の方のご供養を修します。

日 時／8月13日(土) 14:30～

場 所／西山本堂

※当法会の見学は自由ですが、ご自身が施主となつてのご供養をおすすめします。盆合同供養会へお申し込みください。

上記についての申込方法 振込、または来寺にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「通拝供養」にてお申込ください。

故人をお迎えする お盆の習わし 精霊棚とは？

お盆にご先祖様を迎え入れるにあたり様々な準備が必要です。迎え火・マコモござ・精霊馬・水の子などを飾る精霊棚がその一つです。地域や家庭によって、精霊棚に飾るものは多種多様です。今回は興正寺が伝えてきた由緒ある盆飾りの準備をご説明させていただきます。

迎え火

ご先祖様があの世からこの世に向かうとき、迷わず辿り着けるように目印としたのが迎え火です。盆提灯やたいまつで火を焚いたり、ほおずきを盆提灯に見立ててお供えしたりもします。

マコモござ

精霊棚を設える際、はじめにマコモござを敷きます。お釈迦様がマコモで編んだ蓆床に病人を寝かせて治療されたと言われていたことから敷かれるようになりました。

水の子

洗った米とさいの目に切ったナスとキュウリを盛りつけてお供えします。たくさんの御霊をお迎えするとき「すべての御霊に食べ物が行き届くように」という思いから始まったとされています。その他には、季節の果物・そうめん・お膳など、たくさんの食べ物をお供えします。



精霊馬

キュウリ、ナス、割り箸または爪楊枝を用意し、それらでキュウリの馬とナスの牛を作ります。ご先祖様に早く帰って来ていただくためにキュウリの馬を用意し、あの世に戻るときには供物をたくさん積んでゆったり帰れるようにとナスの牛を作ります。供物にならぶ初物の収穫物は、飢えの季節の終わりを喜び、豊かな実りへの感謝をあらわしています。精霊棚には、生きることの喜びや亡き人への想いが色鮮やかに飾られているとも言えるでしょう。

◆盆飾り(コモ)をお持ちください◆

コモは送り火(精霊流し)で供養いたしますので、下記の時間にお持ちください。

送り火

精霊流し

興正寺の精霊流しはピオトープに蓮ろうそくを流し、ご先祖様をあの世へと送ります。ろうそくの灯りはあの世への道を照らし、無事帰っていただく為のものです。

盆飾りやお供えをお持ちください。送り火の蓮ろうそくを授与いたします。

日時 ◆ 8月14日(日)・15日(月) 17:00~20:00

受付 ◆ 西山本堂前テント

供養料 ◆ 1,000円(送り火用蓮ろうそく授与)

※ご希望の方には500円で蓮ろうそくのみ授与いたします。

◆蓮ろうそくのみ授与もいたします。盆飾りをお持ちでない方も、どうぞ一緒に御霊をお送りください。



古来より、お盆にはご先祖さまが家に戻って来ると言われています。盆飾りやお供え物を用意してお迎えお送りし、家族そろってご供養しましょう。

地域版

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

葉月

旧暦八月のこと

木の葉が落ちる月「葉落ち月」、
稲の穂が張る「穂張り月」。

立秋

八月七日

まだまだ暑い日が続くが、お盆を過ぎれば少しづつ秋の気配。立秋より、季節の
あいさつも残暑見舞いに代わる。

処暑

八月二十三日

暑さの峠を越えた頃。朝夕には涼しい風が吹き始め、虫の音が耳に心地よい。台風到来の季節でもある。

ひと

素材に調理に。無限に広がる蕎麦の味

手打ちそばまきの 牧野 満さん



△「すだち」と「花わさび」。共に涼やかな風味が蕎麦にあう



△店内には蕎麦の花や収穫風景の写真パネル



●牧野 満さん

手打ちそば処谷屋(名古屋市西区)で修行し独立、2012年6月に手打ちそばまきのを開く。とてもシャイな牧野さん、写真はNGとのことなのでお父さまお母さまの2ショットにて。元気いっぱいのお母さん、優しい顔のお父さんもこのお店の美味しさの秘密だ。

「八事と言へば曾波」(尾張名所図会)。ここ八事がその昔は蕎麦処だったという事は「存在」だろうか。区内にいくつもの店があるが、地元で蕎麦も食事も楽しめる人気なのが「手打ちそばまきの」だ。八事日赤にほど近い、家族で営む二十席ほどの「こじんまりしたお店で、牧野満さんは蕎麦打ち、そして厨房を担う。

法で挽いた蕎麦粉を使い、蕎麦そのものの薫りと味を楽しむことができる。蕎麦粉の選り方、挽き方、お好みもある。そんな奥深さが蕎麦の魅力だという。暑い盛りには爽やかな「季節のおすすすめ」をいただくのもよし。日本酒や焼酎とともに、肴をつくともよし。家族そろっての団欒もよし。美味しさを楽しもう。

手打ちそば まきの

名古屋市昭和区山里町41番地
ビルズOKD1階 TEL 052-835-5725



親子で読みたい

ことのはあそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉の葉たちを毎月ご紹介していきます。



おどかしてやろうと
かくれていたなら
うしろに しやがんでた
くろお婆け
ぼく
きやーつと にげた
げた めげた
なんだ なんだと
おまわりさん
その うしろにも
くろお婆け

「くろお婆け」より

お寺でおとまり会の夜、子どもたちは肝試しに挑戦します。きやーと響く声。暗闇で、なぜあんなにおそろしいのでしょうか。作詞は詩人、小説家の阪田寛夫(一九二五—二〇〇五年)。彼は「さっちゃん」「ねこふんじやった」の作詞でも有名です。



これは何?

八事のお山の6月 整理しているのは小は、5月に引き続きさな種。すくにはじけピーラッシュでした。ちようと珍しい写真が撮れたので載せてみました。SF映画の武器のような、3枚羽根のブローラ状のモノ、何だかわかりませんが、実体は1mmにも満たないのす。実はこれ、熟したスミレの実。きちんと



蓮の花

昨日 今日 あした...

八事のお山の

毎月21日 興正寺マルシェ

マルシェ×竹翠亭

毎月二十日のマルシェにあわせ、竹翠亭が「和」の入口にご案内します。どうぞお気軽にご参加ください。

「マルシェ点前」

十時〜十三時

僧侶によるお点前でお抹茶を楽しまししょう! (五百円)

「マルシェ着付体験」

十時〜十四時

服の上から着付けてみる、気軽な体験です(無料)

子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの年中行事や四季折々の遊びを楽しむ会です。登録していただく、行事案内をお届けいたします。(会費無料)

興正寺へのお問い合わせは
・お電話 052-832-2801
(年中無休9:00~18:00)
・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
・興正寺HP、公式Facebookは
随時更新中です

●甘味・食事処「八琴庵」より 夏季限定! 冷やし中華



暑い夏にさっぱりと冷やし中華はいかがですか? 酸味のきいたあっさりとしたタレが食欲をそそります。色鮮やかな「涼」の味わいを是非とも堪能ください。

◎冷やし中華 600円

興正寺限定 お遍路もなか(アイスもなか)

もなか皮を菅笠・小枝を金剛杖にみたてた「お遍路もなか」、発売以来、大変ご好評を頂いております。古くよりお遍路参りの結願の場として、多くの方々にお参りいただいている興正寺ならではの甘味です。もなかの下に敷かれている、オリジナル懐紙も必見! お参り帰りやお散歩帰りの暑い夏のひと時に、甘くて冷たい「お遍路もなか」是非ともご賞味ください。

◎パニラ 400円

パニラアイスと相性の良いあずきと白玉をのせた上品な味

◎そば(ヤゴトラカン入り) 450円

蕎麦工房紗羅餐の蕎麦アイスにヤゴトラカンと蕎麦の実をのせた蕎麦づくしのもなか

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 9:00~17:00 (L.O.16:30)
定休日 毎月5日を過ぎた火曜日
8月の定休日は8月9日(火)
9月の定休日は9月6日(火)となります。

仏事の

ひ、ふ、み、



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その19 「神さま仏さま②」

えーと…まず…「神さま」は神社で神主(神職)さん、「仏さま」はお寺でお坊さん…

自然をはじめとした、ありとあらゆるものへの古くからの信仰が形になったのが、神社・神宮にお祀りされている「神さま」。「仏さま」は仏教と言う教え、考え方と一緒に中国から伝わった信仰ですよ、というところまでは話したね。



はい! 「仏さま」は海外からやってきたんですね!

さあここで問題。
他に、「神さま」と「仏さま」の違いは分かるかな?



そうだね。調べてみればたくさんの違いがあるけど、参拝作法の違いは簡単に覚えておいた方がいいかな。神社では2回礼・2回拍手・1回礼という「二拝二拍手一拝(にはいにはくしゅいっぱい)」が基本です。お寺では手は叩かない。両手を合わせて合掌、ですね。作法は違っても、お参りの際に心を込めるということは同じだよ。

興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバッと解決! トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!



石碑でめぐる歴史浪漫

松月堂古流之碑

境内には多くの顕彰碑があります。芸能や武術で名を成した人物、政治家や軍人など様々ですが、いずれも共通しているのは、自身の才覚で時代(一門)を牽引するとともに、そこに集う人々に慕われたということです。

今回ご紹介するのは、華道の松月堂古流にまつわる四つの石碑です。

松月堂古流は、生け花の流派のひとつで、江戸中期の僧、足心軒一露師により創流されました。すでに様式が確立していた時代にあつて、「生花」という新たな様式(その植物をよく観察し、より本来に近い姿になるよう自然観に基づいて活けるもの)を打ち出したのは、極めて画期的なことでした。

その跡を継いだのは、京都の公家 植松賞雅卿で、植松家が代々家元を継承しています。賞雅卿は役目柄、流派としての活動は他に任せ、自らは宮中献花に努めました。そして七代家元植松雅言卿が天皇に生花を献上した折、「日本の生花の司であれ」とのお言葉を賜ったことから、「日本生花司」を冠するようになりました。

石碑にも、「日本生花司」と刻まれています。また、「蓬原舎」は号で、この地方で活躍した松華堂古流の家で、代々これを受け継いだと考えられます。明治・大正・昭和と、四代にわたり活躍したその姿を、四つの碑が物語っています。

これらの碑は、大日堂広場と弘法堂の間の道に沿って建てられています。



日本生花司松月堂古流
四世 蓬原舎之碑
源雅俊書
(十三代家元の書)



日本生花司松月堂古流
三世 蓬原舎宗巳之碑
源雅道(花押か)
(十二代家元の書)



日本生花司松月堂古流
二世 蓬原舎悟巳翁碑
従三位植松雅平書
(十一代家元の書)



日本生花司松月堂古流
蓬原舎翁碑
従三位子爵植松雅平書
(十一代家元の書)

想耕の茶

茶席でのお点前で、抹茶と和菓子を召し上がれます。

予約優先、当日申込み可

日時: 8月3日(水)
11時・12時・14時・15時から(各回40分程)
呈茶代: 1,000円/お一人様・拝観料込
場所: 茶室竹翠亭

お問合せ/茶室 竹翠亭 [TEL 052-832-2801/受付時間:10時~16時]

お盆の星茶席〜花氷の席〜

夏の夜を涼やかに楽しむ星茶席です。精霊流しでご先祖様をお送りした後、ご家族で。盆踊りの合間にひととき入れに。お気軽にお越しください。

日時: 8月14日(日)18:00~20:00
8月15日(月)17:00~20:00
場所: 普門園大書院
料金: 500円(抹茶と季節の和菓子)

お問合せ/茶室 竹翠亭 [TEL 052-832-2801/受付時間:10時~16時]

竹翠だより

お茶が教えてくれたしあわせ

「涼をもとめて」

旧暦の八月は葉の落ちる月。葉月として暦の上では秋ですが、木々の間からは賑やかな蝉しぐれ、道が白く見えるほどの強い日差し、まだまだ暑さは盛りです。皆さま如何お過ごしでしょうか。

太陽のありがたみは分かっている、も、逃れようのない暑さをどのようになに気持ちよく過ごすか、私たちの生活の中には様々な工夫がいつはいます。

夏を伝える言葉、星飛ぶ・遠花火・夏霜など、何ともひんやり涼しげで日中の暑さをひととき忘れてしまいたいようになります。

竹翠亭の室礼や器も早々に衣替え。かすかに揺れる風鈴の音や蚊取り線香の香り、草戸越しに揺れる光。涼を感じるガラスや青竹、籠など。冷たい抹茶に見た目にも涼しげなお菓子も用意して。

暑い中、お越しくださる方の「こは四季の移ろいを深く感じられて、暑さまでも心地良く大好きな場所です」と、何とも有り難いお言葉です。

竹翠流の室礼、お迎えではありますが、私たち自身にお茶や礼法など、少しずつ裏付けが加わって、より楽しくなってきたような気がしております。

お時間がいましたら、季節を楽しみにぜひお立ち寄りください。



八事山歳時記

第一回終活道場

～一日修行体験・特別篇～

六月十八日(土)に終活道場が開催されました。「お寺だからこそできる終活」をテーマに、自らの「死生観」を問いつける作務や瞑想の時間を過ごし「よりよく生きること」を感じていただく場となりました。



去る七月十二日(火)、興正寺月釜が開催されました。松尾流・村瀬玄之先生ののもと、多くの来場者が訪れ深緑の中の茶席を楽しみました。

興正寺月釜

興正寺車両祈禱

参道にて、法人車両祈禱が厳修されました。参拝された方々は会社の繁栄や安全を祈願し、社業に対する決意を新たにされました。



滝川学区ソフトボール大会スコアボード寄贈

六月十九日(日)に行われました、滝川学区ソフトボール大会にてスコアボードを寄贈いたしました。これからますます盛り上がる大会となるよう、興正寺も応援していきたいと思っています。



千燈祭

平成二十八年十月八日(土)・九日(日)

稚児募集は八月開始予定!

(対象年齢:0歳～中学生程度の男女)

お稚児さんの起源は古く、稚児行列に複数回参加できるご縁をいただくことは珍しく、そのような事情から、「稚児に三回参加することは尊いご縁であり、幸せになれる」といわれています。

この機縁に、身体健全などお子さまの健やかなる成長をご祈願ください。



《二四二枚》 河添 たきの

自 平成二十八年 六月一日
至 平成二十八年 六月三十日

（順不同敬称略）

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。八事山興正寺

地藏菩薩前かけ 奉納ご芳名

今月の「標語」

お経典から、先達の書物から、言葉から。五重塔前掲示板よりご紹介します。

親思う心にまざる
親ごころけふの音づれ
何ときくらん
（吉田松陰）
榮真

△6月1日～ 高橋 榮真

言うは易く
行なうは難し
海良

△6月15日～ 西山 海良

お坊さんで行く 興正寺団体参拝

興正寺団体参拝では當山僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成28年度団体参拝予定

◆京都六地藏めぐり 日帰り

随行僧侶：豊田正純 8月22日(月)
【旅行代金】10,000円(昼食代含む)
申込締切 8月8日(月)

◆特別開帳の旅

11月1日(火) 詳細は決定次第お知らせします。

- ◎日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- ◎募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- ◎各参拝の朱印等を希望の場合は別途費用が必要です。
- ◎申込方法／ご来寺またはお電話にて
- ◎支払方法／ご来寺またはお振込にてお願いいたします。

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78
【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]
旅行業公正取引協議会会員

永代供養受付(五重塔横 光明殿1階)より 「営業時間・定休日とご予約優先制」のお知らせ

平成28年9月1日より

●永代供養のご説明・ご相談はご予約優先となります

永代供養に関するご案内・ご相談につきまして、混雑時のスムーズな対応のため、ご予約優先とさせていただきますことになりました。持ち時間を短縮しスムーズにご案内できるように、ご来寺の前日までに電話にて、ご予約賜りますようお願い申し上げます。

●営業時間の変更と定休日のお知らせ

毎月5日を過ぎた火曜日を定休日とさせていただきます。この日は光明殿1階にはお立ち寄りいただけません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

【営業時間】10時～17時(最終受付は16時30分) 【定休日】毎月5日を過ぎた火曜日(9/6・10/11・11/8・12/6)



一日修行体験・特別篇

終活道場

—「死生観」を考える、お寺だからできること—

自らの終わりをみつめることで、今を生きることを考え、
自分を見つめ、自分らしく生きること。
興正寺がご提案するお寺ならではの「終活道場」で、
あなたの今を見つめなおしてみませんか。

9月11日(日)10時～16時 於大書院

支具料:3,500円(昼食付き) 定員:15名(先着予約制)

お問合せ・お申込:お電話(052-832-2801)またはご来寺にて

—お寺の法会まるごと体験!—

いち にち しゅう よう え

一日修養会

「法話・法会参加(布薩会)・写経」 8月7日(日)9時30分～15時

「布薩会」～戒めを守る誓いを新たにす日～

インドの雨季は3ヶ月あり、仏教徒はその間托鉢をせずに一か所で修行をおこないました。これを夏安居(げあんご)といいます。そしてこの夏安居の終わる日に、修行僧たちが集まって各々の修行の成果を確認し、反省するのが布薩会です。場を清め、参加者の身体も清めて、ようやく戒めを守っているかどうかの確認がおこなわれます。律寺としての古式を今に伝える法会です。

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。
季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。
くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。
法会参加者には特別朱印の授与もごさいます。(一日修養会専用朱印台紙つき)
もちろん、昼食と写経もごさいます。皆さまふるってご参加ください。

◎支具料:一般2,300円 社の誓会員1,300円
(昼食付・特別朱印授与)

◎定員:60名 要予約 ◎申込締切:8月4日(木)

◎お問合せ・お申込み:光明殿受付/0120-8510-78

※支具料が事前にお納めいただけるようになりました。

今後の予定 | 11月15日(火)、12月4日(日)
日時・内容は変更することがあります。ご了承ください。



8月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

8月2日・26日 13時30分より

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴木智弘

8月はお休みです

光明殿

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

体験する

阿息観

講師 杉浦宣秀

8月20日・30日 14時より

普照殿／奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ！

阿字観

講師 杉浦宣弘

8月はお休みです

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 梶田英伸

8月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。11時、13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

8月はお休みです

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 梶田英伸

8月はお休みです

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

8月2日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

8月23日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

8月22日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

8月26日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(初級・中級)

8月3日・18日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

8月4日

講師 梶田英伸

支具料1,500円

● お地藏さま ●
奉納前かけ 大募集

募集期間 平成28年 6月24日金～8月24日水

7月・8月の24日地藏菩薩緣日には大書院でのおつとめの後、お地藏さまに前かけ(よだれかけ)を奉納します。夏休み中にあたり「お寺でおとまり会」参加者をはじめ、多くの子どもたちが参加します。

皆さまの力をお貸しください！

奉納方法

- 7月・8月24日(13時より)の地藏菩薩緣日にお持ちいただくか、期間中に納経所へお持ちください。
- おひとりさま何枚でもご奉納いただけます。
- 大きさ、色、形は問いません。



申込受付中 8月24日 地藏盆

奉納のぼり

奉納料 3,000円

地藏盆(大祭)にて奉納するのぼりのご予約も承っています。8月24日から一年間、能満堂へと続く階段におさめられます。

奉納
南無地藏菩薩

興正寺行事カレンダー

8月

普門図拝観時間 10:00~16:00
休園日/6日(土)・27日(土)

月	火	水	木	金	土	日
1 仏滅	2 大安 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木 隆弘	3 先勝 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 想耕の茶 11:00 12:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	4 友引 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 柳田 英伸	5 先負 ○大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り 大随求明王	6 仏滅	7 大安 立秋 ○布薩会 10:00 本堂 ○施餓鬼法会 15:00 本堂 ☆一日修養会 9:30 要予約
8 赤口 戌の日 ○大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 大日如来	9 先勝 ★八尋庵定休日	10 友引 ○観音堂九万九千日 9:00 観音堂	11 先負 山の日	12 仏滅 ○初盆合同供養会 14:00 15:30 17:00 光明殿	13 大安 ○虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○興正寺施主慰霊法会 14:30 本堂 虚空蔵菩薩	14 赤口 ○精霊流し 17:00 本堂前 ○盆踊り 18:00 五重塔前
○盆合同供養会 墓地・霊龜堂・法羅陀浄苑・永代納骨・一般檀信徒の方は本堂へ、圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ						
		本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	本 堂 8:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00
15 先勝 ○戦没者追悼慰霊法会 12:00 本堂 ○精霊流し 17:00 本堂前 ○盆踊り 18:00 五重塔前 *19時の回はずべて本堂にて行います 本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 19:00*	16 友引 ○施餓鬼大法会 11:00 13:00 15:00 本堂 圓照堂 8:00 16:00	17 先負	18 仏滅 ○観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 観世音菩薩	19 大安	20 赤口 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 先勝 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 弘法大師 興正寺マルシェ
22 友引 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ☆団体参拝 京都六地藏めぐり (要予約)	23 先負 処暑 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ☆お寺でおとまり会	24 仏滅 ○地藏菩薩大祭縁日 (菓子まき地藏盆) 13:00 大書院 大数珠おくり/紙芝居 ○法羅陀浄苑地藏盆 10:00 法羅陀浄苑 地藏菩薩	25 大安 ▽遊翠の心 茶の席 (要問合せ)	26 赤口 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木 隆弘 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 先勝	28 友引 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 不動明王
29 先負	30 仏滅 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	31 大安	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安

御霊を送る、精霊流しと共に...



8月14日(日)・15日(月)
18:00~21:00 五重塔前

「花氷の席」(500円) 大書院で特別呈茶席
8月14日(日) 18:00~20:00
8月15日(月) 17:00~20:00

